

「相手の気持ちを気付かう①」 5 学年 学級活動指導案（略案）

＜ソーシャルスキル教育＞「真剣な聴き方」

ねらい 人の話に注意深く耳を傾ける大切さに気づき、相手が話しやすく、真剣に聴いていることが伝わるような聴き方ができる。

準備 教師・・・「かえるくんとがまくん」シリーズの挿絵 運動会の写真 ふり返りカード かえる君の手紙
絵と言葉で説明した聴き方スキルの掲示物 ソーシャルスキルの練習手順を説明した掲示物
ストップウォッチ

児童・・・運動会の作文が書いてあるノート

	学習活動 ＜学習形態＞	時間	・教師の支援及び留意点 ☆ユニバーサルデザインの手立て 人・・・人的環境 物・・・物理的環境
インストラクション	1. 友達が話しているときには、真剣に聴くことの大切さを知る。＜全体＞ ・2学年の国語で学習した物語「かえるくんとがまくん」のシリーズ（アーノルド・ローベル作）の挿絵を数枚見せる。 ・かえるくんとがまくんの関係を物語から確かめる。 ・挿絵で二人がしていることを考える。 ・友達の話を受く側の態度について考える。 友達のままじめな話は、しんけんに聞こう。	5分	☆以前に学習した教材をイラストで提示することにより、興味を持たせる。物（資料①） ・文中の「しんゆう」という言葉をとらえさせる。 ・挿絵に共通することは何かを考えることにより、全ての挿絵は、二人が会話をしている様子であることに気付かせる。 ・友達がまじめに話している状況では、真剣に聴くことが友達関係を深める上で大切なことを伝える。
モデリング	2. 「真剣な聴き方のスキル」を理解する。＜全体＞ ・「真剣ではない聞き方」のモデルを見る。 ・児童の代表が話し手となり、教師が聞き役になる。 ・気付いたことを話し合う。 「よそ見をしている。」 「話を聞かないで、しゃべっている。」 ・「真剣な聴き方のスキル」のモデルを見る。 ・児童の代表が話し手となり、教師が聞き役になる。 ・真剣な聴き方を確認する。 ①話す人に体を向けて顔を見る。 ②話を最後まで聴く。 ③タイミングよくうなずく。相づちを入れる。 ④話が終わったら相手の気持ちを考えた言葉を伝える。（自分の感想でもよい。）	5分	・「真剣ではない聞き方」を見せることによって、聴き方の大切さを確認させる。 ・モデル以外の児童には、真剣ではない聞き方の態度を見つけさせる。 ・話すモデルの児童には、真剣ではない聞き方をされたときの気持ちをクラス全体に伝えさせる。 ・話すモデルの児童には、真剣に聴いてもらったときの気持ちをクラス全体に伝えさせる。 ☆「真剣な聴き方のスキル」は、言葉で伝えるだけでなく、絵とイラストにしたものを掲示して、どの子にも伝わるようにする。物（資料②）
リハーサル	3. 聴いてもらう内容について、どんなことを話すか個人で考えたり練習したりする。＜個別＞ ・テーマ『運動会の思い出』	5分	・話す内容を考えたり練習したりできる時間を設ける。 ☆実際の運動会で5年生が出場した種目の写真を掲示し、話すことを想起できるようにさせる。物（資料③） ・話すことが苦手な子には運動会の作文を読み返してもよいことを伝え、自力で話せることにつなげさせる。
	4. 「真剣ではない聞き方」をする。＜ペア＞ ①相手を見ない。 ②話の途中で、聞き手が話をする。 ・一人が話し手になる。もう一人が聴き手になる。時間は1分間。1分を過ぎた合図がある。合図があったら交代する。 ・気付いたことを全体で話し合う。	10分	☆ペア学習で取り組むことによりどの子どもにも友達とかかわりあって表現する機会を持てるようにさせる。人 ・真剣ではない聴き方を具体的に確かめさせる。 ・他のペアと机を離し、お互いの声が気にならないようにさせる。 ・「真剣ではない聞き方」を体験させることによって、聴き方の大切さを確認させる。
	5. 「真剣な聴き方」をする。＜ペア＞ ・真剣ではない聴き方と同じペア、同じテーマで取り組む。 ・真剣ではない聞き方と同じ手順で進める。 ・真剣な聴き方を確かめる。	10分	☆どの児童にも学習の手順が分かるように、指示を一文一動作で伝える。人 また、指示した手順を掲示しておく。物（資料④） ・真剣な聴き方を再度確かめる。 ・積極的に取り組む児童を具体的に賞賛する。 「タイミングよく頷いて上手に聴いているね。」 ・スキルが使えていない児童には肯定的な言葉で助言する。「話している人の顔を見ようね。」
	6. 本時を振り返る。＜個別→ペア→全体＞		・話す立場と聴く立場の両面から振り返らせるよう

フ ー ィ ー ド マ ン シ ン	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードに、感想を書く。 (真剣な聴き方はできたか) (資料⑤) (真剣な聴き方をしてもらって、どう感じたか) ・二人組で感想を話し合う。 ・学級全体で感想を発表し合う。 	10 分	な記述欄をカードに設ける。 ・普段は聴くことが苦手な児童に発表する機会を設け、学級全体で認めてあげることに繋げる。 ☆本時における学級全体の取組に対して肯定的な言葉で評価し、これからも、生活の中でスキルを使っていこうとする意欲を高めさせる。人
---	--	---------	---

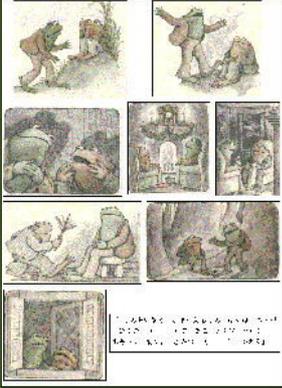
評価

- ・「真剣な聴き方スキル」を使えている。(観察・振り返りカード)
- ・「真剣な聴き方スキル」のよさを感じることができる。(観察・発表・振り返りカード)

板書計画「真剣な聴き方スキル」

友達のままじめな話は、しんけんに聞こう。

どの絵でも二人がしていることは？



資料①

真けん聞くスキル

1話す人に体を向けて顔を見る。



2話を最後まで聞く。



3タイミングよくうなづく、あいづちを入れる。



4話が終わったら相手の気持ちを考えた言葉を伝える。(自分の感想でもよい)



資料②

運動会のことを思い出そう

運動会の写真

運動会の写真

運動会の写真

運動会の写真

運動会の写真

運動会の写真

資料③

話の進め方

じゃんけんをします

勝った人 負けた人

話します 聞きます

合図が出たら始めます

もう一度合図が出たら話をやめます

聞いていた人は、感想などを伝えましょう

資料④

資料① 資料② 資料③ 資料④

真けん聞く方 振り返りカード 名前 ()



① 真けん聞く方は、できましたか。
(できた→○ もう少し→△)

き	き	方	○か△
話す人に体を向けて顔を見る。			
話を最後まで聞く。			
タイミングよくうなづく。(あいづちをうつ。)			
話が終わったら、相手の気持ちを考えた言葉を伝える。 (自分の感想でもよい。)			

② 真けん聞く方をしてもらって、どう感じましたか。

③ 今まで、どのような聞き方をしていましたか。また、これから、話を聞くときには、どのようなことを注意していきたいですか。

資料⑤

「相手の気持ちを気付かう②」 5年 学級活動指導案（略案）

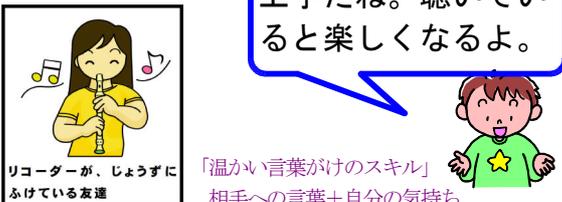
＜ソーシャルスキル教育＞「温かい言葉を広げよう」

ねらい 温かい言葉とは何かを知り、温かい言葉がけのよさを感じながら使うことができる。

準備 教師・・・絵と言葉で説明した「温かい言葉がけ」スキルの掲示物

「温かい言葉がけ」を考えるカード ふり返しカード

ソーシャルスキルの練習手順を説明した掲示物「温かい言葉がけ」の練習カード

	学習活動＜学習形態＞	時間	・教師の支援及び留意点 ☆エビカルデザインの手立て 人・・・人的環境 物・・・物理的環境
インストラクション	<p>1. 温かい言葉の大切さを知る。＜一斉＞</p> <p>・ワークシート（資料①）にある「算数の計算が解けた子」のイラストから、どの言葉がけをしたら嬉しいかを文例から選び、話し合う。</p> <p>温かい言葉を広げよう</p>	5分	<p>☆ワークシートと同じ文章とイラストの両方で表した掲示物で説明をすることにより、どの子にも場面の様子が理解できるようにさせる。物（資料②）</p> <p>・計算が解けた子の立場になって、言葉をかけられたときの気持ちを考えさせる。</p> <p>・文例から「温かい言葉＝相手の様子など＋自分の気持ちなど」にも気付かせる。</p>
モデリング	<p>2. 同じ言葉「すごい」を2つのパターンで言葉がけしたとき、言葉をかけられた立場の気持ちを考える。＜一斉＞</p> <p>A.冷たい言い方 B.温かい言い方</p> <p>3. 「温かい言葉がけスキル」を確認する。＜一斉＞</p> <p>①相手を見る ②温かい言葉＝「相手の様子」＋「自分の気持ち、考え」 ③やさしい言い方 ④やさしい表情</p> <p>・教師が言葉がけをする役、児童の代表が「算数の計算が解けた子」の言葉がけを受ける役になったモデルを見る。</p>	10分	<p>・相手への言葉がけでは、言葉の内容だけでなく、言い方や表情なども大切であることに気付かせる。</p> <p>☆ソーシャルスキルは、言葉で伝えるだけでなく、文とイラストにしたものを掲示して、どの子にも伝わるようにする。物（資料③）</p> <p>・モデルの児童には、温かい言葉がけをされたの気持ちをクラス全体に伝えさせる。</p>
リハーサル	<p>4. ワークシート（資料①）にある「逆上がりができない友達」の絵から、温かい言葉がけを考えてワークシートに書く。＜個別＞</p> <p>5. グループになり、「温かい言葉がけのスキル」を練習する。＜四人グループ＞</p> <p>・様々な場面について文と絵で説明しているカードを一枚ずつ選ぶ。</p> <p>・一人が自分のカードの場面を文と絵で説明し、その子に対して、他の三人が一人ずつ温かい言葉をかける。</p> <p>・一人に対して全員が温かい言葉をかけられたら、次の子に交代する。</p> <p>上手だね。聴いてみると楽しくなるよ。</p> <p>「温かい言葉がけのスキル」 相手への言葉＋自分の気持ち</p>  <p>リコーダーが、じょうずにふけている友達</p>	5分 15分	<p>☆文章とイラストの両方で説明することにより、どの子にも場面の様子が理解できるようにさせる。物（資料②）</p> <p>☆グループ学習で取り組むことによりどの子にも友達とかかわりあって表現する機会を持てるようにさせる。人</p> <p>☆どの児童にも学習の手順が分かるように、指示を一文一動作で伝える。人 また、指示した手順を掲示しておく。物（資料④）</p> <p>☆カードは、文章とイラストの両方で説明することにより、どの子にも理解できるようにさせる。物（資料⑤）</p> <p>・温かい言葉がけで、「相手の様子、気持ち、考え」と「自分の気持ち、考え」の両方が言えない子は、どちらか片方だけでもよいことを伝える。</p> <p>☆聴く立場のときには、以前に学習した「真剣な聴き方スキル」を意識させ、発言者が安心して自分の思いを表現できる雰囲気づくりにつなげる。人</p>
フィードバック	<p>6. 本時を振り返る。</p> <p>＜個別→ペア→全体＞</p> <p>・振り返りカードに感想を書く。（資料⑥） （温かい言葉がけができたか）</p>	10分	<p>・温かい言葉をかけた立場とかけられた立場の両面について振り返らせる。</p>

(温かい言葉がけをしてもらって、どう感じたか)
(これから、どんな場面でスキルが使えるか)
・ペアで感想を話し合う。
・学級全体で感想を発表し合う。

・温かい言葉がけが活用できそうな場面を具体的に考えさせる。
☆本時における児童の取組に対して、肯定的な言葉で評価する。人

評価

- ・「温かい言葉がけスキル」を使えている。(観察・振り返りカード)
- ・温かい言葉をかけ合う体験を通して、そのよさが感じられている。(観察・発表・振り返りカード)

板書計画 「温かい言葉がけスキル」

温かい言葉を広げよう

どんな言葉をかける？

温かい言葉がけスキル

1 相手を見る。

2 温かい言葉

「相手の様子」
+
「自分の気持ち・考え」

やさしい言い方
やさしい表情

言葉がけ練習の進め方

全員、立ちます。

ほかの人にカードを見せます。

カードに書いてあることを話します。

ほかの人は、「温かい言葉がけ」を考えます。

「温かい言葉がけ」をします。

すわって、話し合います。

- ・温かい言葉がけをしてもらった気持ち
- ・ほかの温かい言葉がけを考える

言葉がけをする場面

リコーダーが、じょうずにふけている友達

ぞうきんがけをがんばっている友達

半紙に、すみをたらししまった友達

静かな声が小さい友達

資料②

資料③

資料④

資料⑤

温かい言葉がけ 名前()

①一年生のネコ君が、たし算の答えを正しく書けました。言われたらうれしい言葉がけに○をつけましょう。

すらすら書けたね。

あつているよ。感心したなあ。

あのくらい、だれでもできるんじゃない？

②なかなか、さかあがりのできない友達があります。「温かい言葉がけ」を書きましょう。

資料①

温かい言葉がけ ふりかえりカード 名前()

①温かい言葉がけについて、ふりかえろう。
(できた→○ もう少し→△)

き き 方	○か△
相手を見る。	
温かい言葉	相手の様子や気持ちを表す言葉を言う。
	自分の気持ちや考えを表す言葉を言う。
やさしい言い方をする。	
やさしい表情をする。	

②温かい言葉がけの練習をふり返って、感じたことを書きましょう。

.....

.....

.....

③これから、「温かい言葉がけ」は、どのようなときに使えそうですか。思いっただけ書いてみましょう。

.....

.....

.....

資料⑥

「自分の気持ちを伝える①」 5年 学級活動指導案（略案）

＜ソーシャルスキル教育＞「グループで話し合うときのこつ」

ねらい グループで話し合うときには、メンバー全員が同じように発言することの大切さに気付き、周囲の話も聴きながら自分も同じように発言をして話し合える。

準備 教師・・・絵と言葉で説明したソーシャルスキルの掲示物 ゲームの進め方を説明した掲示物
ゲームで使うカード ふり返しカード

	学習活動 ＜学習形態＞	時間	・教師の支援及び留意点 ☆ユニバーサルデザインの手立て 人・・・人的環境 物・・・物理的環境
インストラクション	1. グループなどで話し合うときには、みんなと同じくらいに話すことの大切さを知る。＜全体＞ ・一人でたくさん話す人がいたらどうなるか考える。 ・全員が黙っていたらどうなるか考える。 話し合うときには、みんなと同じくらい話そう	3分	・「一人だけで話すこと」と「黙ったままでいる」ことの問題点から、話し合いでは、みんなと同じくらいに話すことが大切になることを気付かせる。 ☆イラストと文字で表した掲示物で説明することにより、どの子どもにも場面をとらえさせる。 物（資料①）
モデリング	2. 「グループで話し合うときのスキル」を理解する。＜全体＞ ・「グループで話し合うときのスキル」を知る。 ①自分の番になったら話す。 ②みんなと同じくらい話す。 ③話し終わったら、司会者が、次の人に「では、～さん（君）どうぞ」と言う。 3. 「グループで話し合うときのこつ」のモデルを見る。 ・教師（司会者役）と児童三名がモデルになる。	5分	☆ソーシャルスキルは、話して伝えるだけでなく、書いたものを掲示して、どの子にも伝わるようにさせる。 物（資料②） ☆以前に学習したソーシャルスキル「真剣な聴き方」を発言を聴く立場の際には意識させ、発言者が安心して自分の思いを表現できる雰囲気づくりにつなげる。 人 ・スキルを確認しながらモデルを見るように伝える。
リハーサル	5. グループになり、「グループで話し合うときのスキル」を練習する。＜四人グループ＞ ・テーマ「自分の好きな食べ物」「運動会で一番心に残っている種目」「好きな色」「今朝起きた時間」について司会者の進行でスキル練習をする。	10分	☆グループ学習で取り組むことによりどの子どもにも友達とかかわり合って表現する機会を持てるようにさせる。人 ・テーマごとに司会者を代えて、どの子にも司会者の経験をする機会を設ける。
	6. 「動物教室の席がえゲーム」をする。＜四人グループ＞ ・「グループで話し合うときのこつ」を使ってゲームを進める。 ・ルールを知らせる。 「ヒントカードを裏にして重ねておく。」 「司会者が一人目を指名する。」 「指名された人は、ヒントカードを一枚取る。」 「取ったカードは、人に見せない。」 「カードに書いてある情報をみんなに伝える。」 「聴いている人は『真剣な聴き方』をする。」「情報から分かったことがあったら、カードを並べる。」 「司会者が二人目を指名してゲームを進める」 「カードが全て並べ終わったら司会者が報告にくる。」	17分	☆一つのグループにゲームの進め方のモデルをさせながら指示を一文一動作で伝える。人 また、指示した手順を掲示しておく。物（資料③） ☆ゲームを取り入れることにより、集中して学習できることにつなげる。物（資料④） ・積極的に取り組む児童を具体的に賞賛する。 「声がよく聞こえたよ。ヒントカードに書いてあったことをみんなに分かりやすく伝えられたね。」「うなずきながら友達の話がよく聴けているね。」 ・早くカードを並べられたグループは、もう一度ゲームをしてよいことを伝える。

フ ォ ィ ー ド メ シ ン ク	6. 本時を振り返る。〈個別→グループ→全体〉 ・振り返りカードに、感想を書く。(資料⑤) ・四人グループで感想を話し合う。 ・学級全体で感想を発表し合う。	10 分	☆学習したソーシャルスキル「温かい言葉がけ」をグループ内で使い、お互いが認め合えることにつなげさせる。☑ ☆本時における学級全体の取組に対して肯定的な言葉で評価し、これからも、生活の中でスキルを使っていこうとする意欲を高めさせる。☑
---	---	---------	---

評価

- ・「グループで話し合うときのスキル」を使えている。(観察・振り返りカード)
- ・「グループで話し合うときのスキル」のよさを感じることができる。(観察・発表・振り返りカード)

板書計画 「グループで話し合うときのスキル」

話し合うときには、みんなと同じくらい話そう

リレーの順番を話し合いました・・・




グループで話し合うときのスキル

自分の番になったら話す。

みんなと同じくらい話す。

(司会者) 話し終わったら、次の人に「では、～さん(君)どうぞ」と言う。

動物カードの席がえ

一人一人の情報が大切

ゲームの進め方

1. ヒントカードを同じくらいの数ずつうらにして 配る。
2. 司会者 「①番のカードを持っている人は、手をあげてください。」
3. ①番のカードを持っている人は、手をあげる。
4. 司会者が指す。「では、～さん(君)どうぞ」
5. 指された人は、カードを見せなくて書いてあることをみんなに伝える。
6. 「書いてあるのは、～ということです。」
7. 聞いている人は『異質な話の聞き方』をする。
8. 席の分かった虫がいたら、虫カードを正しいと思う席に置く。(ヒントカードの話をしている人)
9. ヒントカードは、使い終わったらうらにして重ねておく。(一度使ったカードは、なるべく見ない)
10. 司会者 「②番のカードを持っている人は、手をあげてください。」
11. ②番のカードを持っている人は、手をあげる。

資料①

資料②

資料③

グループで話し合うときのこつ ふりかえりカード

名前 ()

①「グループで話し合うときのこつ」について、ふりかえろう。
(できた→○ もう少し→△)

○か△		
	話し合い、	
	自分の番になったら話す。	
	みんなと同じくらい話す。	
	(司会をした人) (話し終わったら次の人に「では、～さん(君)どうぞ」と言う。)	

②今日の授業をふり返って、思ったことを書きましょう。

資料⑤

動物教室のざせき表

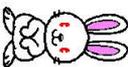
黒 板

せんせい

動物教室のざせき表

黒 板

せんせい

ニワトリ ニワトリ	トラ トラ	ライオン ライオン	カバ カバ	ネコ ネコ	ウシ ウシ
ウ ウ	ダ ダ	ウサギ ウサギ	ゾウ ゾウ	サル サル	キリン キリン
					

「動物教室の席がえ」読みカード

① ニワトリさんは、前のまどぎわです。

② お肉が好きなトラさんは、ニワトリさんのとなりです。

③ ライオンさんも、お肉が好きです。

④ お肉が好きな二人は、ちがうかわですが、となりどうしです。

⑤ ネコさんは、よくとなりのウシさんからミルクをもらいます。

⑥ ウシさんの席は、前のかどにあります。

⑦ ネコさんの後ろは、サルさんです。

⑧ せが高いキリンさんの席は、後ろのかどです。

⑨ ウアさんの席も後ろのかどにあります。

⑩ ウアさんは、となりのダチョウさんとよくきょう走をします。

⑪ ズウさんのとなりの人は、ジャンプがとくいです。

⑫ ウサギさんは、ジャンプがとくいです。

⑬ ズウさんの前の人は、水泳がとくいです。

⑭ カバさんは、水泳がとくいです。



「自分の気持ちを伝える②」 5年 学級活動指導案（略案）

＜ソーシャルスキル教育＞「自分の意見を言うときのこつ」

ねらい 自分の考えを伝えることの大切さを知り、お互いによい思いをしない自分の意見の言い方ができる。

準備 インストラクションで使うワークシート ワークシートの内容に係るイラストの掲示物

言葉で説明したソーシャルスキルの掲示物 二者択一のテーマが書いてあるカード

ゲームの進め方を説明した掲示物 ふり返しカード

	学習活動 ＜学習形態＞	時間	・教師の支援及び留意点 ☆ユニバーサルデザインの手立て 人・・・人的環境 物・・・物理的環境
インストラクション	<p>1. 自分だけ意見が違っていても意見を言うことの大切さを知る。＜全体＞</p> <p>・ワークシートの例題（自分の意見が友達に左右されやすい場面）について考える。（資料①）</p> <p>※調理実習でみそしるを作ることになった。グループでは、具の一つとして大根かとうふのどちらかを入れるかで意見が分かれた。仲のよい友達は、とうふを入れたいと言っている。でも、自分は包丁を使う練習がしたいので大根がよいと考えている場面。</p> <p>・どのように行動したらよいかを話し合う。</p> <p>自分の意見を友達に伝えよう</p>	5分	<p>☆ワークシートと同じ文章とイラストの両方で表した掲示物で場面の説明をすることにより、どの子にも理解できるようにさせる。物（資料②）</p> <p>・実際にこれからの調理実習で作る機会があるみそしるを例題にあげることにより、スキルの必要性が感じられることにつなげる。</p> <p>・仲の良い友達とは違う具をみそしるに入れたいと思っている立場になり、その後の行動を三択から考えさせる。「友達に合わせて、とうふがよいと言う。」「黙っていて、他の人達に決めるのをまかせる。」「自分が作りたい大根がよいと言う。」</p> <p>・友達に考えを合わせないと不安であるが、自分の意見を言わないとすっきりしない気持ちが残ることをとらえさせる。</p>
モデリング	<p>2. 「自分の意見を言うときのスキル」を理解する。 ＜全体＞</p> <p>・「自分の意見を言うときのこつ」を確認する。</p> <p>①アイメッセージ ＜「私（ぼく）は～と思う。」のように、まず、自分の意見や気持ちを言う＞</p> <p>②理由と質問 ＜理由は、～だから。みんなは、どう思う？＞</p> <p>3. 「自分の意見を言うときのスキル」の使い方についてモデルを見ながら理解する。</p> <p>※「わたしは、大根がいいと思う。理由は、大根の方が包丁を使う練習ができるから。みんなは、どう思う。」</p>	5分	<p>☆ソーシャルスキルは、話して伝えるだけでなく、書いたものを掲示して、どの子にも伝わるようにさせる。物（資料③）</p> <p>・教師がモデルとなり、インストラクションで提示した場面では、スキルを使ってどのように意見を言うかを見せる。</p>
リハーサル	<p>4. 「自分の意見を言うときのスキル」を使って書く。</p> <p>・ワークシートに載せてある2つ目の例題について「自分の意見を言うときのスキル」を使って書く。 ＜個別＞</p> <p>※昼休みになった。友達が一緒に過ごそうと誘いに来た。自分は借りたい本があるので図書室へ行きたいと思っている。</p>	5分	<p>☆文章とイラストの両方で説明することにより、どの子にも理解できるようにさせる。物（資料②）</p> <p>・スキルを使って書けた子の例を紹介して参考にさせる。</p>
	<p>5. グループになり、「自分の意見を言うときのスキル」を練習する。＜4人グループ＞</p>	20	<p>☆グループ学習で取り組むことによりどの子どもにも友達とかかわり合って表現する機会を持てる</p>

<p>・二者択一の例題について、選んだことを「自分の意見を言うときのスキル」で話す。</p> <p>例題「なるなら委員長か副委員長か」など</p> <p>・司会者が発言する子を順番に指名して進める。</p> <p>「私は（ぼく）は、○が好きです。理由は、～だからです。みんなは、どう思いますか。」</p> <p>ルール①「二者択一で、必ずどちらかを選ぶ。」</p> <p>ルール②「どんな意見も『真剣な聴き方スキル』で聞く。」</p> <p>ルール③『『グループで話し合うときのスキル』でお互いが同じくらい意見を言えるようにする。』</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>ぼくは、委員長になりたいです。理由は、委員会の中心になってがんばりたいからです。みんなは、どう思いますか？</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>わたしは、副委員長になりたいです。理由は、委員長だと緊張しそうだからです。みんなは、どう思いますか？</p> </div> <p style="text-align: center;">「自分の意見を言うときのスキル」 アイメッセージ+理由と質問</p>	<p>分 ようにさせる。☒</p> <p>☆教室に掲示して「真剣な聴き方のスキル」を確認して発言を聴く際に意識させる。☒</p> <p>・テーマは、どの子も話すことを決められ、短く話せる内容にして、スキル練習の機会を増やす。</p> <p>☆どの児童にもスキル練習のやり方が分かるように具体的な例文とルールを掲示しておく。☒ (資料④)</p> <p>☆テーマが書いてあるカードを掲示して進める。</p> <p>☒ (資料⑤)</p> <p>☆以前に学習したソーシャルスキル「真剣な聴き方のスキル」「グループで話し合うときのスキル」を使い、認め合える雰囲気の中で意見が言えるようにさせる。☒</p> <p>・理由を言うときには、選んでいないことを否定的に伝えるよりも、選んだことを肯定的に伝える方が、自分と違うものを選んだ友達が嫌な思いをしないことを伝える。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">フイードバック</p> <p>6. 本時を振り返る。＜個別→グループ→全体＞</p> <p>・振り返りカードに、感想を書く。(資料⑥)</p> <p>・4人グループで感想を話し合う。</p> <p>・学級全体で感想を発表し合う。</p>	<p>10 分</p> <p>・普段、グループでの話し合いが苦手な児童に発表する機会を設け、学級全体で認めてあげることにつなげる。</p> <p>☆「温かい言葉がけスキル」をグループ内で使い、互いが認め合えることにつなげさせる。☒</p> <p>☆本時における学級全体の取組に対して肯定的な言葉で評価し、これからも、生活の中でスキルを使っていこうとする意欲を高めさせる。☒</p> <p>「アイメッセージで自分の意見がはっきり言えていましたね」「意見の理由を考えて伝えられましたね」</p>

評価

- ・「自分の意見を言うときのスキル」を使えている。(観察・振り返りカード)
- ・「自分の意見を言うときのスキル」のよさを感じることができる。(観察・発表・振り返りカード)

「自分の意見を言うときのこつ」板書計画

こんなとき、どうする？

自分→ 仲のよい友達

自分の意見を友達に伝えよう

自分の意見を言うときのスキル
アイメッセージ
「私（ぼく）は、～と思う。」

理由と質問
「理由は、～だから。みんなは、どう思う？」

「二者択一」の進め方

ルール① 「二者択一で、必ずどちらかを選ぶ。」	ルール④ 理由は、自分が選んだことについて話そう。
ルール② 「どんな意見も『真剣な話の聞き方』で聞こう。」	ルール⑤ アドバイスがあれば、「温かい言葉がけ」で伝えよう。
ルール③ 『自分の意見を言うこつ』でお互いが同じくらい意見を言えるようにしよう。』	

朝食なら
パンかご飯か

寝るなら
ふとんか
ベッドか

飼うなら
犬かネコか

なるなら
委員長か
副委員長か

資料②

資料③

資料④

資料⑤

自分の意見を言う ふりかえりカード

名前 ()

- ① 「自分の意見を言う」について、ふりかえろう。
(できた→○ もう少し→△)

話し合い	○か△
アイメッセージ ※「私（ぼく）は、～と思う。」のように、まず、自分の意見や気持ちを言う。	
理由と質問 ※「理由は、～だから。みんなは、どう思う？」のようにアイメッセージの後に伝える。	

- ② 「自分の意見を言う」練習をふり返って、感じたことを書きましよう。

資料⑥

自分の意見を言うこと

名前 ()

1. 調理実習でみそしるを作ります。具を2種類入れます。油あげを入れることが決まりましたが、あと1種類がなかなか決まりません。**あなたは、大根を入れたいと思っています。**大根の方が、包丁で切る練習ができるからです。でも、仲のよい友達は、とうふを入れたいと言っています。どうしますか？

☆ 次の3つから1つ選んで番号に○をつきましょう。

- ① 友達に合わせて、「とうふにしよう」と言う。
- ② だまっていた、他の友達に決めてもらおう。
- ③ 自分が入りたい「大根にしよう」と言う。



選んだ理由を書きましよう。

2. お昼休みになりました。友達といっしょに、何をしようか相談しています。**あなた、借りた本があるので、図書室へ行きたいと思っています。**『自分の意見を言うこと』を使って、友達に話ましよう。